

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/05/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



OPECプラスの増産観測で年初来安値圏に

NY原油先物相場は、1バレル=60ドル台前半での売買を経て、58ドル水準まで下落する展開になった。石油輸出国機構（OPEC）プラスの増産観測を受けて、需給緩和見通しを織り込む動きが優勢になっている。60ドルの節目を割り込み、終値では年初来安値を更新した。通商問題に対する警戒感の後退で世界的に株高傾向が強まったが、原油相場は逆に下値模索の展開になっている。米中通商協議の開始が近づいているとの見方が強まるも、原油相場に対する影響は限定的だった。

OPECプラスは5日に予定されていた協議を3日に前倒しで実施し、6月に自主減産を日量41万1,000バレル縮小することを合意した。5月に続いて6月も大規模な供給増が行われることになる。OPECプラスは市場環境が健全な状態にあるとの認識を示しているが、マーケットでは需給緩和を決定づける動きとのネガティブな評価が優勢になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月25日時点）は、原油が前週比270万バレル減、ガソリンが400万バレル減、石油精製品が94万バレル増となった。

【展望】

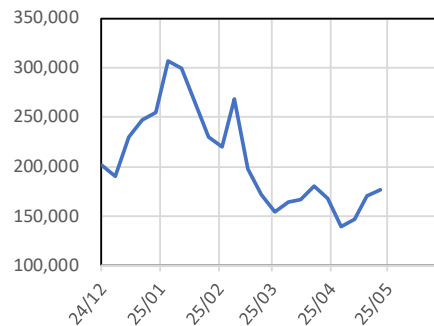
需給緩和見通しで上値重い、米中通商環境が注目されるも

需給緩和見通しから、上値の重い展開が続く見通し。通商リスクの織り込み一巡で下げ一服感が広がっていたが、改めて60ドルの節目を割り込んだことで、地合の悪さを再確認している。世界経済の減速で石油需要の伸びが鈍化する見通しが強まるタイミングで、OPECプラスは5月に続いて6月も大規模な供給増を進めることになる。何か突発的な供給障害の発生が見られないのであれば、需給緩和見通しの値下がり傾向が維持される見通し。55ドルの節目割れから50ドル台前半へのコアレンジ切り下げが打診されよう。

OPECプラスは5月に続いて6月も大規模な供給増に踏み切る。昨年は原油相場を下支えするための減産に積極的だったが、今年は減産縮小を急いでいる。各種メディアの報道などを総合すると、サウジアラビアは他産油国の減産合意の履行状況に不満を示しており、協調減産の継続は困難との戦略転換を行った模様だ。このままOPECプラスの供給量が増え続けるのであれば、OPECプラス以外のいずれかの産油国が減産対応を迫られることになり、そのためには原油相場の60ドル台は高過ぎるとの評価になる。原油安によって、主要産油国に対して生産調整を促していくフェーズになる可能性が高い。

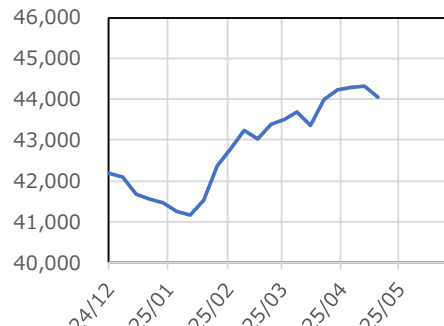
通商環境については、依然として不透明感が強い。前週は米中の接触が報告されており、近く米中通商協議が開始されるとの見方はポジティブ。実際に通商協議の日程などが決まると、株価動向次第で原油相場も一時的に60ドル水準まで切り返す可能性がある。ただし、米中通商合意が早期に成立する可能性が低いこと、世界経済の減速傾向は避けられないことを考慮すると、一時的な反発リスクとの評価に留まろう。需給緩和見通しの修正は難しい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



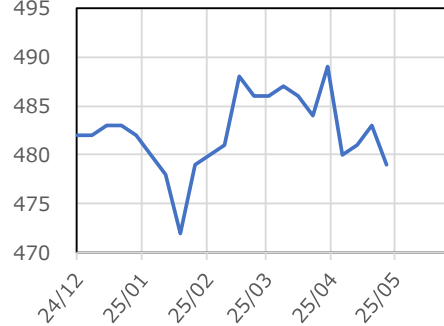
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

